

# 交遊抄

「そんな汚い服は捨てなさい」。初対面でデザイナーの若田淳先生に言われた。1990年度後期のNHK朝の連続テレビ小説「京、ふたり」に主演した山本陽子さんのお慰労会の席だ。デビュー後7年ほど。服装に気を使う余裕がない32歳の頃だ。

「TPOに応じた服選びは社会人の常識。店に来なさい」と言われて翌日伺い、スーツやシャツ、ネクタイなどを10点ほど選んでいた。3割引きでも、大変高価な買い物だった。でも良いものを着てそれに負けずに自分の中身を高めよう、と考えが変わった。

その後、大阪の大劇場で新春公演に出演してい

たとき、先生は浅丘ルリ子さんと山本陽子さんを伴って樂屋にたずねて来られた。若い自分に笛をつけたやろうという思いやりだったのだろう。終演後、ホテルのスイートルームを借りて四人でマージャンをした。

## 男　　男

郎　　琢

男。マージャンもやかましく「リーチ」「ロン!」と大声を出す。美しい手役に惚れてなかなか降りないの

巳　　辰

芝居へのダメ出しも厳しく、「辰巳君に芝居を教えた」と今でも自慢する。親父のような、兄貴のような。次の舞台

では思いきり笑わせホロリと泣かせる。文句を言わせないお芝居をします。ぜひ来てくださいね。(たつみ・たくろう)俳優